

英語科学習指導案

日 時

学 校 名

展開学級

授 業 者

1 単元名

Program 2 Good Night. Sleep Tight. (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元目標

自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）仲間を増やすために、英語の授業で友達や先生に、説得力のある情報やデータを加えて、推し活をお互いに勧め合うことができる。

3 単元について

本単元では、睡眠の重要性を題材として取り扱う。スマホやパソコンを日常的に使用する中学生が増えている。その結果、寝つきが悪くなったり、眠りが浅くなったりするなど、翌朝の目覚めが良くない子供たちが増えているという。現状を理解した上で、睡眠の質を向上させるために何が必要か生徒たちにも考えさせたい。

また、本文の会話の中には、原因やデータのような根拠のある情報を提示しながら、聞き手を納得させる表現が多く使われている。そこで学習した語句や文を活用しながら、自分たちにとって身近な話題について話す活動として「自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）仲間を増やしたいあなたは、英語の授業で友達や先生とお互いに自分の推しについて話し合うことになった。」という場面・状況を設定し、「説得力のある情報やデータを加えて、推し活をお互いに勧め合う」ことを目的とした話す表現活動を設定した。学習指導要領外国語第2節英語の目標（3）話すこと[やり取り]イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に重点を置いて指導を行う。

本単元で扱う言語材料は、間接疑問文・二重目的語構文である。間接疑問文は、疑問文がほかの文の一部として埋め込まれたものであり、疑問詞節の中の文の語順が平叙文と同様になる。二重目的語構文は、第4文型であり、その中でも第3学年では直接目的語に **that** や疑問詞を使った名詞句になったものを取り扱う。これらの言語材料を効果的に使うため、パフォーマンステストとして話すこと[やり取り]の場面として、友達の説明に適切な質問を考えながら話を伝え合う活動を設定した。

<CAN-DO リスト形式による学習目標との関わり>

本校 CAN-DO リストの3年話すこと[やり取り]の「ALT や級友、外国人の友達に紹介する等の場面に応じて、歴史や伝統に関する文化的事項や、世界平和や環境保護、人権擁護に関する社会的な話題、級友の未来に対する思いに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを学習した簡単な語句や文を用いて述べ合っている。」と示した目標に照らして、今回は級友の思いを聞き、そこから感じたことを質問しながらやり取りを行い、身近な話題から文化的事項や社会

的話題に関心を向けられるよう段階を踏んだ指導を行っていきたい。

4 生徒の実態

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 ・間接疑問文・二重目的語構文の意味や働きを理解している。 〔技能〕 ・間接疑問文・二重目的語構文を活用して、他の人の推し活（習い事・趣味・ファンなど）について話を聞いて考えたことや感じたこと、その理由などを、学習した簡単な語句や文を用いて述べ合う技能を身に付けている。	・寝不足の人に、睡眠の重要性を知ってもらうための話をするために、学習した簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を発表している。 ・自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）を増やすために、英語の授業で友達や先生と学習した簡単な語句や文を用いて述べて合っている。	・寝不足の人に、睡眠の重要性を知ってもらうための話をするために、学習した簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を発表しようとしている。 ・自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）を増やすために、英語の授業で友達や先生と学習した簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。

6 単元の指導計画

時間	ねらい（■）、言語活動等（・）	知	思	態	備考
1	■自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）仲間を増やすために、その人・物・事の魅力をお互いに話してみる。 ・伝えられたことと、伝えきれなかったことについて把握する。 ■睡眠の重要性についての話の内容を聞き取る。 ・本文の内容の概要を捉える。				・単元のまとめ活動について意識させるために、パフォーマンステストに近い内容の活動を行い、目標をもたせる。
2	■いつ・どこで・どんなことをするかを質問しながら、修学旅行での体験について話す。 ・間接疑問文の意味や働きを理解する。 ・間接疑問文を活用して、やり取りをしながら修学旅行での体験について話す。	※	※		・第2～7、10～11時は記録に残す評価は行わない。 - ただし、観点（※の部分）は提示し生徒に意識させながら活動させ、その状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。 ・第2時以降、帯活動として
3	■日本土産を何にしようか困っている外国人の観光客に、ご当地の特産物を紹介するスキットを作り、演じる。 ・二重目的語構文の意味や働きを理解する。 ・間接疑問文や二重目的語構文を活用して、	※	※		

	スキットを作り、やり取りを行う。				モデル（構成）を提示した短いスピーチを即興で1人1～2分程度行い、話の流れを意識して伝える力を育成していく。
4～7	■ 寝不足の人に、睡眠の重要性を知ってもらうための話をするために、本文の内容を音読して覚える。 ・音声を聞き、Thinkの内容を確認する。 ・音読練習を行う。	※		※	
8～9	■ 寝不足の人に、睡眠の重要性を知ってもらうための話をするために、本文のことばを活用しながら根拠を示して改善点を伝える。 ・メモや表、根拠を提示しながら睡眠不足の改善策について伝える。 ・実際に伝えた内容を書いてまとめる。		○	○	・行動の観察及びワークシートへの記述内容により評価する。
10 11 本時	■ 自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）仲間を増やしたいあなたは、英語の授業で友達や先生とお互いに自分の推しについて話し合うことになった。説得力のある情報やデータを加えて、推し活をお互いに勧め合う。 ・説得力のある情報やデータを集め、勧める準備をする。 ・パフォーマンステストに向けて、自分の勧めたいことをグループの中で伝え合う。	※	※	※	・グループで役割分担をしながら、やり取りを行いパフォーマンステストへ向けた練習を行う。 ・第11時の活動の中で、評価者（助っ人）のやり取りへの貢献は第3観点の加点として記録しておく。
12	・パフォーマンステスト	○	○	○	以下の◎に記載
後日	・ペーパーテスト	○	○		・単語テスト、リスニングテストを実施し評価する。

◎単元末に行うパフォーマンステスト

以下の形式で実施する。

- ・教室内でグループ（3人か4人）を作り、教師がそのグループに近くに行きやり取りを聴く。
- ・教師は1グループの2ペア分のやり取りを観察し、以下の評価基準に照らして評価する。
- ・他のグループはやり取りの様子を聴く。

※基本的にはその場で評価を行う。ただし、後で見返すことができるようにギガタブで記録としても残しておく。

<パフォーマンステストの評価基準>

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	既習事項を活用し、相手の勧めに対して気になったことやもっと知りたいことを、 <u>知りたい・教えてほしい気持ちを</u>	自分の推し活を始めてもらうために、好きな理由や良いところを <u>データや説得力のある情報を加えて</u> 伝えながら、勧める	話に関心を持ってもらうために、聞き手に質問をしたりしながら相手の理解を確認しながら、勧めようとしている。 <u>また、</u>

	<u>伝えながら</u> 質問することができている。	ことができている。	<u>自分の知りたいことを積極的に質問しようとしている。</u>
B	既習事項を活用し、相手の勧めに対して気になったことやもっと知りたいことを質問することができている。	自分の推し活を始めてもらうために、好きな理由や良いところを伝えながら、勧めることができている。	話に関心を持ってもらうために、聞き手に質問をしたりしながら相手の理解を確認しながら、勧めようとしている。
C	Bに達していない。		

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・間接疑問文・二重目的語構文を活用して、他の人の推し活（習い事・趣味・ファンなど）について話を聞いて考えたことや感じたこと、その理由などを、学習した簡単な語句や文を用いて述べ合う技能を身に付けている。 [技能] 【知識及び技能】
- ・自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）仲間を増やすための話を、英語の授業で同級生や先生と学習した簡単な語句や文を用いて述べ合っている。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・自分の推し活（習い事・趣味・ファンなど）仲間を増やすための話を、英語の授業で同級生や先生と学習した簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開

過程	学習活動（○）と内容（・）	指導上の留意点（・）と評価（◇）
挨拶 帯活動 7分	○挨拶 ○英語の歌“As Long As You Love Me”を歌う。 ○Speech & Comments ・提示されたトピックについてその場で考え、1分程度の短いスピーチを行う。 ・スピーチを聞いたら、感想や質疑応答をする。	・教師と生徒とのスモールトークを交えながら、英語を話す雰囲気を作る。 ・声を出して歌えるよう促す。 ・スピーチの型はTVで提示し、話す順序をわかりやすくさせる。 ・質問はできる限り疑問詞を活用したものを尋ねるよう促す。
導入 4分	○復習 ・前時に確認したモデルトークを確認し、自分たちの行う活動についてイメージをもつ。 ○本時の目標を理解する。	
友達に共感してもらえそうな情報を入れながら、自分の推し活について語り合おう！		
	○勧めるための情報を伝える練習をする。	・どんな情報を入れるか、どんな質問が

		来るかを考えさせながら練習させる。
展開① 13分	○グループでやり取りのリハーサルをする。 ・以下の役割に分け、4人グループで活動する。 <1回目> A: 勧める B: 質問する C: 評価者 D: 評価者 <2回目> A: 質問する B: 評価者 C: 評価者 D: 勧める <3回目> A: 評価者 B: 評価者 C: 勧める D: 質問する <4回目> A: 評価者 B: 勧める C: 質問する D: 評価者 ※評価者はやり取りの助っ人を兼任し、話が滞った際に質問をしたりしながら会話を促すよう活動する。	・グループ編成は事前にカード等で行っておく。 ・評価者にはパフォーマンステストで活用するループリック＋興味を持てたものを確認させながら活動させる。 ・机間指導をしながら、振り返りの際のモデルとなる生徒をモニターしておく。 また、やり取りが滞っているグループには答えやすい質問をしながら、話を展開するよう促す。 ・机間指導の中で、生徒の発言の良い部分はその場で伝え、生徒に共有させる。
振り返り① 5分	○代表生徒は教師と、興味をもてた話について英語でやり取りする。	・代表生徒の話の中から相手に興味を持たせられそうな情報を聞き、その中でフィードバックできることを全体へ伝える。
展開② 13分	○振り返り①を踏まえて、再度やり取りのリハーサルを行う。 ・グループのメンバーを変えて、展開①と同様の活動を実施する（計4回）。	・深められそうな部分を考えながらやり取りをしているかを、モニターする。 ・普段の学級での生活班に戻す。
振り返り② 3分	○代表生徒のやり取りを聴く。 ○次の活動に向けての改善策を考える。	・代表生徒のやり取りを聞き、その中でフィードバックできることを全体へ伝える。 ・何を伝えるとより良くなるかを考えさせたり、代表生徒の発言内容をどう広げるかを例示したりしながら全体へ共有させる。
まとめ 5分	○振り返りシートに反省等を記入する。 ・本時の授業でわかったこと、できるようになったこと、大切なことを書く。 ○次回予告をする。 ・パフォーマンステストについての説明を聞く。	・フィードバックを受けて変化したことを記述するよう促す。

A と評価できる生徒のやり取りの例	B と評価できる生徒のやり取りの例
A: I want you to know about "Conan". Have	A: I want you to know about "Conan". Have

you ever watched the anime?

B: Yes. Please tell me why you love it. (知りたい気持ちを伝える質問がある)

A: Because there are many cool characters and the mysteries are interesting.

B: Wow! Who is your favorite character?

A: I like Kid the Phantom Thief. He is very popular because he looks cool. He can change his face mask into any people. The latest movie featured him and more than 10 million people have watched it! (具体的な数字を入れて説得力のある理由を入れている) You should watch it! You can be surprised at many scenes.

B: That's amazing. I want to know other favorite movies to you! (知りたい気持ちを伝える質問がある)

A: Well, my favorite is "Black Submarine". It's a thrilling movie. Why don't you watch that movie if you have time?

B: Sure. Thanks for telling me.

you ever watched the anime?

B: Yes. Who is your favorite character?

A: I like Kid the Phantom Thief. He is very popular because he looks cool. He can change his face mask into any people.

B: That's amazing.

A: I also like "Black Submarine". It's a thrilling movie. Why don't you watch that movie if you have time?

B: Sure. Thanks for telling me.